

好学尚武

市立浦和高等学校野球部通信

発行者 鈴木 諭

発行日 H30. 9. 23

発行ナンバー 643号

練習試合の結果

16日(日) 対不動岡高校

第1試合 1対2 敗退

第2試合 3対5 敗退

17日(月) 対庄和高校

第1試合 9対6 勝利

第2試合 0対4 敗退

通算成績 20勝 20敗 2分

部員が1名増える！

市高は現在、中高一貫校です。

(中学校が学年2クラス、その子達そのまま市高に入学し、それとは別に高校から入学してくる子達が6クラス、学年8クラスという編成です)

この時期、付属中学の3年生は(保護者からの参加届が提出されれば)高校生と一緒に部活動を行うことができるという形をとっています。

なぜそんなことを書いているのか・・・

その参加届が提出されたのです！

(マネージャー希望の女子生徒)

実は、その女子生徒のお父さんは、私の市高野球部同級生(お母さんもソフトボール部だった同級生です)今夏の大会を観戦して、マネージャーを希望してくれたそうです。

中学生が1人で、高校の部活動に参加したいと名乗り上げるには、それ相応の勇気が必要だったと思います。部員全員で、彼女が活動しやすい状態をつくる必要があると思います。

野球は「心を伝える」スポーツです。忘れずに！

戻りアウト

野球において「負けるチームがよくやっていること」・・・前回(637号)は、「セーフに投げる」でしたが、今回はコレ・・・

「(走者の) 戻り (帰塁) アウト」です。

野球における「戻りアウト」は流れを失い、負けに近づくものだと私は選手に伝えています。そもそも「戻りアウト」というプレー事態が、かなりの割合で打者のミスによって起きるものだからです。(エンドラン・バント・スクイズなど、ゴロが必要なサインの時にフライをあげる→結果、ランナーが戻れずアウトなど・・・)

また、ライナーゲッターなどでの「戻りアウト」もチームにとってダメージが大きいのではないのでしょうか・・・(良い当たりなのになぜ2つアウトになるんだ・・・)

野球は「相手の力」も利用する競技ですから、相手チームの攻撃が「戻りアウト」で終了した時などはチャンスです。やや重い足取りで守備についているような感じだったら「一気に攻めるぞ！」となるよう話しています。

色々な話になってしまっていますが、チームには、足の速い遅いに関わらず、次の塁への意識の高い選手が求められます。1番マズいのは、前の塁へ進めないのに「戻りアウト」になってしまうプレーヤーです。

うまくまとまりませんが、市高ではこのようなミーティングを行っています。技術や能力の差を「考える」ことで縮めることが目標です。

偉そうに書いていますが、この日の練習試合もライナーゲッターと捕手からの1塁送球で「戻りアウト」がありました。しかも・・・一番私がやってはいけないと言っている(前にランナーがいる状態での)「後ろのランナーの戻りアウト」でした・・・

ぜひ、試合中の「戻りアウト」に注目してみてください。